

2023年度(第1回)

学校関係者評価委員会評価報告書
(2023年度自己点検・自己評価)

令和5年9月30日

学校法人 朝日医療学園
朝日医療専門学校広島校

2023年度 朝日医療専門学校広島校

第1回 学校関係者評価委員会

(委員)

氏名	所属	任期	種別
土方 政幸	公益社団法人広島県柔道整復師会理事	2023年4月1日 ～2024年3月31日	企業・業界団体
河部 眞利	広島県立安芸南高等学校 元校長	2023年4月1日 ～2024年3月31日	高等学校校長経験者
渡邊 由恵	広島テレビ放送株式会社 総務局 総務人事部	2023年4月1日 ～2024年3月31日	学生の保護者
中村 崇弘	己斐なかむら鍼灸接骨院 院長	2023年4月1日 ～2024年3月31日	本校卒業生

評価項目別結果 1:不適切 2:やや不適切 3:ほぼ適切 4:適切

(1)教育理念・目標(教育理念、目標、育人人材像)			自己評価点	評価点
課題	今後の改善方策	学校関係者評価		
教育理念や教育目標等については、入学式等の行事での挨拶・学生便覧、校内掲示(1Fロビー、教職員室等)、ホームページ上などで、学生・保護者に周知している。	今後も周知を継続していく。	ホームページなどへ周知する情報は公開するだけでなく届けることを意識し配信されるとより効果的な情報発信につながると思う。 一斉メールにて、必要な情報のリンク先を張り付けて周知することも考えてほしい。	4	3
特記事項 なし				
(2)学校運営(運営方針・運営組織・情報管理)				
課題	今後の改善方策	学校関係者評価		
理事会・評議員会で決定した経営方針や事業計画をもとに学校長の指示の下、組織的に運営しているが、教職員への周知・徹底を継続する必要がある。 校内各委員会において、各期における行動計画を立案し、業務の進捗状況を適宜確認している。	期初だけでなく、様々なレベルの会議を通じて、理事会・評議員会の決定事項を教職員に周知するとともに進捗状況の報告・チェックを実施していく。 また、組織として機能するために他部門の業務内容の理解をさらに深化させるため、会議にて連絡・調整を密にしている。	特に問題なし。	3	3
特記事項 なし				
(3)教育活動(目標設定、カリキュラム編成、成績評価、単位認定、資格取得の指導体制)				
課題	今後の改善方策	学校関係者評価		
年間を通して補習・チューター体制を整え、継続的に指導を行っている。また、月1回、第3学年を対象に模擬試験を両学科ともに行い、学習状況を把握するとともに、学生に対して国家試験合格への意識付けを行っている。 新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことから、今年度から全学年が対面授業を実施している。 また、タブレット端末を用いた講義を実施し、Google Classroomを活用した授業資料・課題・補習動画等の配信を行っている。	柔整・鍼灸学科ともに実質合格率の向上を目標に、今後も国家試験対策講義・補習を継続していく。 また、基礎学力の低さが目立つ学生が徐々に増えていることから、学生に対しては課題を提出させることで学習習慣を身に付けさせるとともに、学科教員は授業力の向上・動画教材や演習問題の充実をさらに図っていく必要がある。	基礎学力の低さは小中高校に由来していると理解しているが、国試合格を目指す学校としては、学力の格差に関して学び直しの機会を探りつつ何かしらの対応を実践していくことが重要であると考えます。	3	3
特記事項 なし				

(4) 学修成果(資格取得率、就職率、退学率、学生の社会的活動)				
課題	今後の改善方策	学校関係者評価		
<p>就職希望者に対する就職率は100%を継続している。退学率に関しても5%未満を維持している。</p> <p>実質合格率を向上させるために、授業・補習等の取り組みをさらに工夫する必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、教育活動がしやすくなった面があり、特別講義の実施・ゼミの開講が前年度までよりも充実してきている。</p>	<p>実質合格率の向上や退学率5%未満を継続するためにも、成績不良者に対する面談や指導を継続していく。</p> <p>実質合格率の向上をさせるためにも、学生の意欲が増す取り組みを今後も続けていく必要がある。</p>	<p>退学率5%未満を継続しながらも、入学人数に対する実質合格率が向上しない点は、業界として成果や結果、魅力を伝えきれてない点もあるかと思う。学校だけの努力だと限界もあるので、業界団体としても学生の意欲が高じる発信を考えたい。</p>	3	3
特記事項 なし				
(5) 学生支援(就職・進学支援、健康管理、学生生活・相談、保護者との連携、卒業生支援)				
課題	今後の改善方策	学校関係者評価		
<p>担任を中心に面談・相談の体制をとっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたが、その他の感染症も流行している。体調面の把握を行い、適宜、面談・指導を行っている。</p> <p>また、各教科担当者が講義中の学生の様子を会議等で報告し、必要な支援・指導につなげている。</p> <p>就職・進学支援については、担任・学生部が中心となり、第3学年の学生全員の面談を行い、進路希望の聞き取りを行った。</p>	<p>面談や普段のコミュニケーションを通して学生の状況を把握し、丁寧な指導を今後も継続していく。</p> <p>学生の多様化が進んでおり、新しい時代の学生理解・指導の在り方を教職員も学んでいくことで、学生が意欲的に学べる学校づくりを目指す。</p> <p>第3学年の進路指導については、今後は模擬試験等の結果を踏まえながら、学生本人の希望に沿える進路先につなげていく。</p>	<p>まずは国試合格が学生のゴールだと思いますが、就職・進学支援として今後も資格取得後のビジョンや未来を見せていただける教育支援をお願いしたい。</p>	3	3
特記事項 なし				
(6) 教育環境(施設・設備等、学外実習、防災・安全等)				
課題	今後の改善方策	学校関係者評価		
<p>学生に対して行うアンケートの結果に基づいて随時改善を行っているが、概ね学生には不都合は起こらなかった。</p> <p>経年劣化が見られる箇所や安全・防災面の老朽化対策も予算計上し、適宜計画的に進めている。特に今年度は7階自習室改修の予算を計上し、環境整備を進めていく。</p>	<p>7階の施設改修を確実に実行することで、学生満足度を向上させていく。</p> <p>また、西広島駅周辺の再開発に伴う移転計画があることから、魅力ある教育環境の構築について検討していく。</p>	<p>引き続き、学生に対する学校評価アンケートをもとに改善すべき点を精査・実行して魅力ある教育環境の構築を図ってほしい。</p>	4	4
特記事項 なし				

(7) 学生の募集と受け入れ(学生募集活動、入学選考、学納金)				
課題	今後の改善方策	学校関係者評価		
<p>前期の重要事項である4～8月のオープンキャンパスに関しては昨年度の反省(参加者数が多いが歩留まり率が低下した点)を考慮し、開催日を増やして細かく対応するために高校1・2年生(本校学生が運営)と高校3年生(保護者対応あり)を別日程で開催した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことから大学等の動きも活発化し、本校が他大学等と比較されるケースが増えてきている。その対策として「特待生制度」を本校で初めて導入することで、学力優秀者や制度がないことで他校を選択していた高校生の確保も目指している。</p>	<p>一昨年・昨年度と同様に歩留まり率を上げるために、出願前の9月に複数回の入試説明会をオンラインで開催する。</p> <p>また、社会人の入学検討者も動き始めており、9月・10月には社会人を対象とした学校説明会を少人数で複数回開催する予定である。</p> <p>さらに、次年度の学生募集のために、高校1・2年生に対する体験型ガイダンスの案内を多数頂いているので、可能な限り学科教員と連携して参加する。</p> <p>柔道整復・鍼灸の認知度向上とともに本校の特徴や強み、他校との違いをアピールすることで次年度以降の入学予定者・検討者の母集団形成にも注力する。</p>	<p>大学進学を希望する者が多い中「特待生制度」の活用は必要性を感じる。ぜひとも「学力優秀者」に対しての制度であることを高等学校、保護者、受験者本人へ周知のうえ、向上心を持った学生の入学者数増加へつなげていただきたい。</p>	4	4
特記事項 なし				
(8) 財務(財務基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開)				
課題	今後の改善方策	学校関係者評価		
<p>公認会計士の監査を受け、評議員会および理事会で審議のうえ、現状は適正な財務状況であると承認を受けている。</p>	<p>引き続き全体的な財務状況を意識しながら適切且つ正確な予算申請を実施していく。</p> <p>また、事業遂行の際には可能な限りコスト削減に努める。</p>	<p>特に問題なし。</p>	4	4
特記事項 なし				
(9) 法令等の順守(個人情報保護、学校評価)				
課題	今後の改善方策	学校関係者評価		
<p>設置基準に則り、適正な運営がなされている。</p>	<p>今のところ大きな改善は必要ないと考えている。</p>	<p>特に問題なし。</p>	4	4
特記事項 なし				
(10) 社会貢献・地域貢献(社会・地域貢献、生涯学習、ボランティア活動)				
課題	今後の改善方策	学校関係者評価		
<p>地域住民を対象とした「いきいき100歳体操」を本校2階柔道場にて、今年度も実施している。</p> <p>また、広島市西区社会福祉協議会の依頼による「地域福祉推進委員連絡会及び西区区域協議体」で本校の教育活動や地域貢献等の取り組みを紹介した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことから、今後は世の中の活動がより活発になっていくことが予想される。</p> <p>地域に開かれた魅力ある学校づくりを推進し、本校の資源(人材・教材・施設等)を活かした地域貢献をしていく。</p>	<p>地域に必要とされる学校であることがよく理解できた。これからも地域に根差した社会貢献活動には何があるのかを地域団体と連携しながら地道に取り組んでほしい。</p>	3	4
特記事項 なし				

総合的評価結果

特に大きな問題なく健全に運営されている。